

新たな心臓カテーテル治療を開始しました：

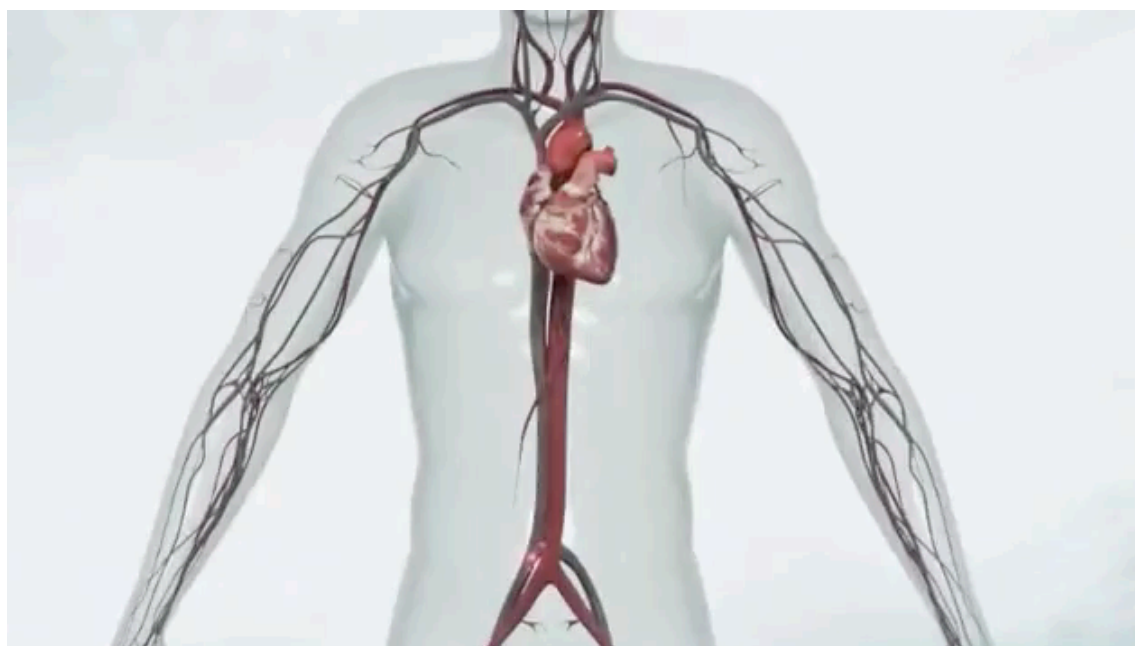
経皮的卵円孔開存閉鎖術

三重大学血管ハートセンターでは、多領域（脳、心臓、大動脈、末梢血管、先天性心疾患）の血管内治療のエキスパートが常勤しており、最新の治療を積極的に導入おります。今回は、2019年末に「脳梗塞再発予防のための経皮的卵円孔開存閉鎖術」の施設認定を受けました。つきましては、本治療法の詳細とその窓口としての専門外来をご紹介します。

【卵円孔開存と脳梗塞について】

心臓の心房中隔に常に大きく穴が開存している心房中隔欠損に対し、当院は既に認定施設として、現在まで約100例の患者様のカテーテル治療を合併症なく行ってきました。

今回の治療対象となる卵円孔開存は、心房中隔壁の一部が弁のように、くっついたり離れたりしている状態です。普段は卵円孔開存があっても血液の漏れは起こらず、なんら問題はありません。しかし、咳や排便などお腹に圧力のかかる等のある特定の状況では、卵円孔から血液の漏れが起こり、場合によっては血栓が卵円孔を通過して右心房から左心房に流れこみ、これが頭の血管に到達すると脳の血管に詰まって脳梗塞を起こします。このような右左シャントに関連した脳梗塞を奇異性脳塞栓と呼び、これまで原因不明とされてきた「潜因性脳梗塞」の原因の一つと考えられています。



奇異性脳塞栓に対し、カテーテルを用いて穴を閉じることで脳梗塞の再発を予防する治療が「経皮的卵円孔開存閉鎖術」です。

【経皮的卵円孔開存閉鎖術の対象となる方】

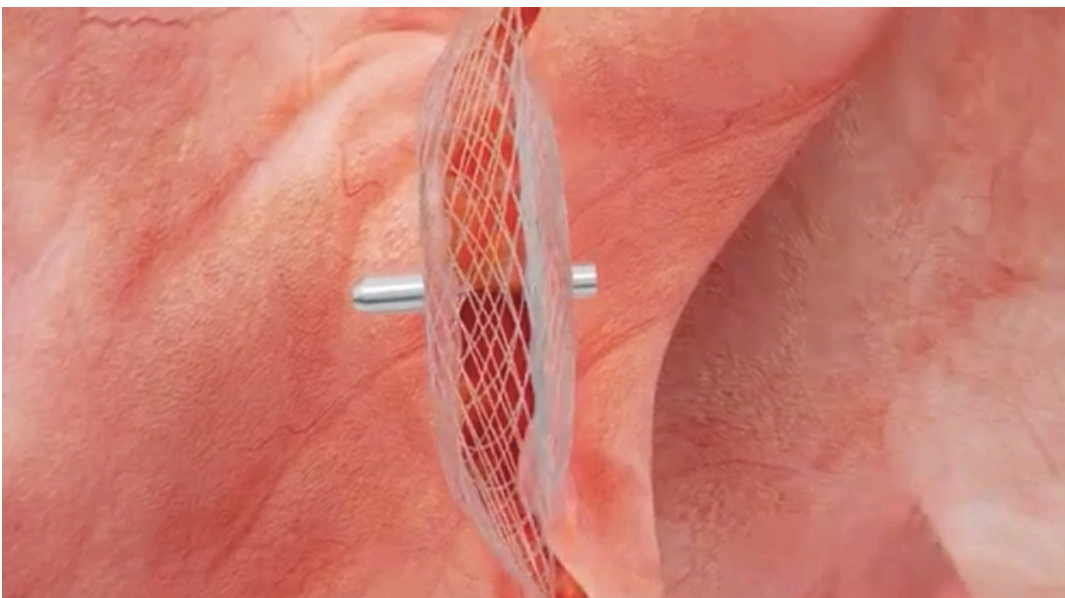
・脳卒中専門医に卵円孔を介した脳梗塞であると診断され、「潜因性脳梗塞の診断基準」に合致した方。

・脳卒中専門医が上記診断をした後、循環器専門医が経食道心エコー検査を用いて卵円孔に関する形態的な評価を行い、その上で「ブレインハートチーム」で定期的なカンファレンスを行なって卵円孔開存閉鎖治療に対する適応を決定しております。女性の場合、妊娠していない、かつ1年以内の妊娠を希望しないことが治療の条件となります。

【経皮的卵円孔開存閉鎖術の目的】

卵円孔開存が原因で脳梗塞を発症した可能性がある患者様では、脳梗塞の再発予防のために血液をさらさらにする薬（抗血小板薬または抗凝固薬）を長期間（一生涯）内服する必要があります。カテーテルで卵円孔開存閉鎖術を施行することで、内服薬の継続が必要であることに変わりはありませんが、卵円孔開存が原因で生じる脳梗塞の再発を内服治療のみと比較して大きく軽減させることが証明されています。

【経皮的卵円孔開存閉鎖術の実際】



本治療で使用する卵円孔開存閉鎖栓は、真ん中の部分がくびれた形をしており、両側の広がった部分（ディスク）とくびれた部分（ウェスト）には、特殊な布（ダクロン）が縫い付けられています。このウェスト部分を卵円孔に合わせるように入れて、左右のディスクで穴の両側から挟み込むようにして穴を閉じます。全身麻酔または局所麻酔で行い、カテーテルを太ももの付け根の静脈（大腿静脈）から挿入し手技を行います。胸に傷が残ることはなく、太ももの付け根の3mm程度の傷のみで可能な手技です。同様の素材を用いた心房中隔欠損症に対するカテーテル閉鎖術はすでに日本で1万人以上に行われており、良好な治療成績が報告されています。診療には10日程度入院が必要です。治療後は一定時間ベッドの上で安静にして頂いた後、翌日から歩くことが可能です。入院中に、血液検査、胸部レントゲン検査、心電図検査、心エコー図検査を行います。退院後は定期的に外来で診察致します。また、治療後はこれまで通り必要に応じてMRI検査を受けることができます。

**耐久性のあるナイチノール製ワイヤー
メッシュとポリエステル織布**

X線透視下での視認性を実現します

**非対称のダブルディスク
デザイン**

左心房に入る部分を最小限に
抑えます

94%
の閉鎖率
RESPECT試験
6カ月時点の成績



INTAGLIO™ ワイヤー加工

ニッケルの溶出を低減するよう
デザインされています

【問い合わせ等連絡先】

- 治療の内容に関して

三重大学医学部附属病院 電話：059-232-1111

小児科 大橋啓之，三谷義英

循環器内科 土肥薫

脳神経内科 新堂晃大，冨本秀和

脳神経外科 安田竜太，鈴木秀謙

- 外来受診（予約）に関して

かかりつけ医療機関から診療予約申込書と診療情報提供書（紹介状）を当院へ FAX 送信していただくことにより、初診予約をとることができます。なお、患者さんから直接のお申し込みはできませんので、かかりつけ医療機関にてご相談ください。みなさまのご理解とご協力をお願い致します。

電話（医療機関の方専用）：059－231－5541（三重大学病院総合サポートセンター）